

福祉職場説明会調査研究事業アンケート報告書

第1回

【事業所用】

対 象：福祉職場説明会出展法人
(北海道内 42 法人)

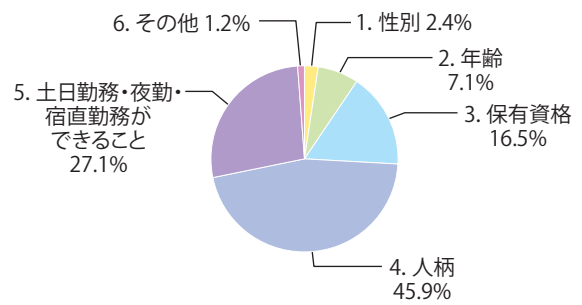
回答数：42 法人

回答率：100 %

実施日：平成 30 年 6 月 2 日(土)

問1 職員を採用するにあたって重視する事をお聞かせください。(複数回答)

「人柄」が39事業所(45.9%)と最も多く、続いて「土日勤務・夜勤・宿直勤務ができること」が23事業所(27.1%)、「保有資格」14事業所(16.5%)であった。

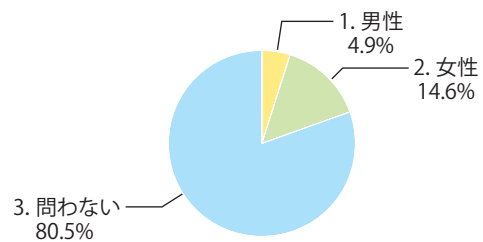


(n = 85)

項目	件数	割合
1. 性別	2	2.4%
2. 年齢	6	7.1%
3. 保有資格	14	16.5%
4. 人柄	39	45.9%
5. 土日勤務・夜勤・宿直勤務ができること	23	27.1%
6. その他	1	1.2%

問2 採用したい職員の性別をお聞かせください。

採用したい職員の性別を「問わない」が8割を占めた。

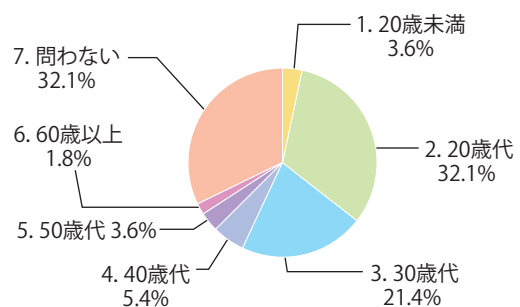


(n = 41)

項目	件数	割合
1. 男性	2	4.9%
2. 女性	6	14.6%
3. 問わない	33	80.5%

問3 採用したい職員の年齢層をお聞かせください。

「20歳代」と「問わない」が同数の18事業所(32.1%)と最も多く、続いて「30歳代」が12事業所(21.4%)であった。



(n = 56)

項目	件数	割合
1. 20歳未満	2	3.6%
2. 20歳代	18	32.1%
3. 30歳代	12	21.4%
4. 40歳代	3	5.4%
5. 50歳代	2	3.6%
6. 60歳以上	1	1.8%
7. 問わない	18	32.1%

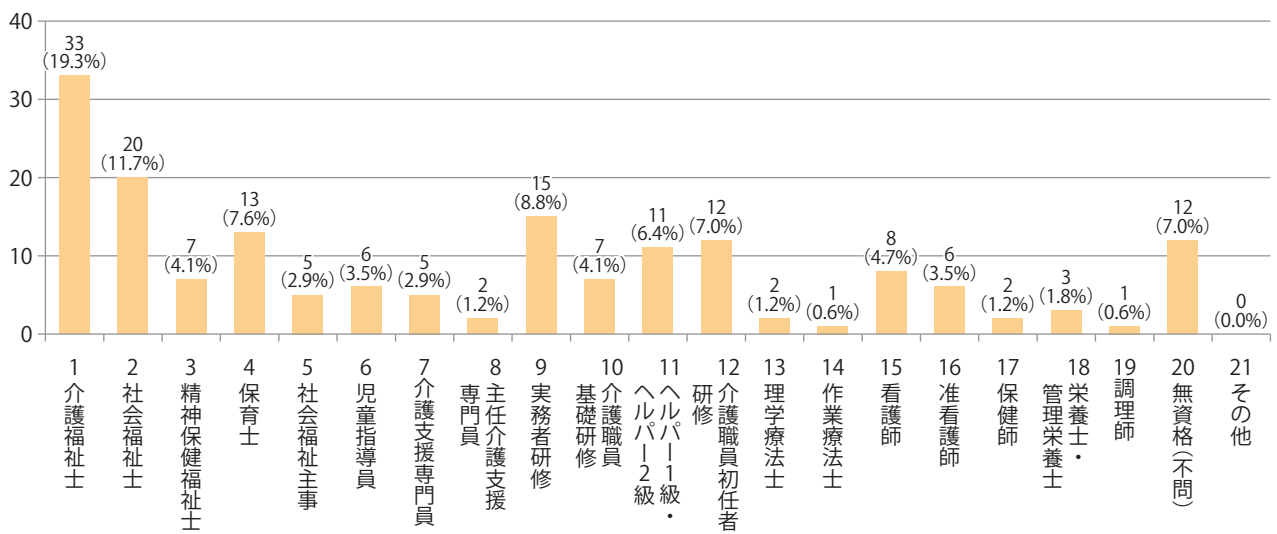
問4 採用する職員に求める資格をお聞かせください。（複数回答）

「介護福祉士」が33事業所（19.3%）と最も多く、続いて「社会福祉士」が20事業所（11.7%）、「実務者研修」が15名（8.8%）であった。

(n=171)

1. 介護福祉士	33	19.3%
2. 社会福祉士	20	11.7%
3. 精神保健福祉士	7	4.1%
4. 保育士	13	7.6%
5. 社会福祉主事	5	2.9%
6. 児童指導員	6	3.5%
7. 介護支援専門員	5	2.9%
8. 主任介護支援専門員	2	1.2%
9. 実務者研修	15	8.8%
10. 介護職員基礎研修	7	4.1%
11. ヘルパー1級・ヘルパー2級	11	6.4%

12. 介護職員初任者研修	12	7.0%
13. 理学療法士	2	1.2%
14. 作業療法士	1	0.6%
15. 看護師	8	4.7%
16. 准看護師	6	3.5%
17. 保健師	2	1.2%
18. 栄養士・管理栄養士	3	1.8%
19. 調理師	1	0.6%
20. 無資格（不問）	12	7.0%
21. その他	0	0.0%

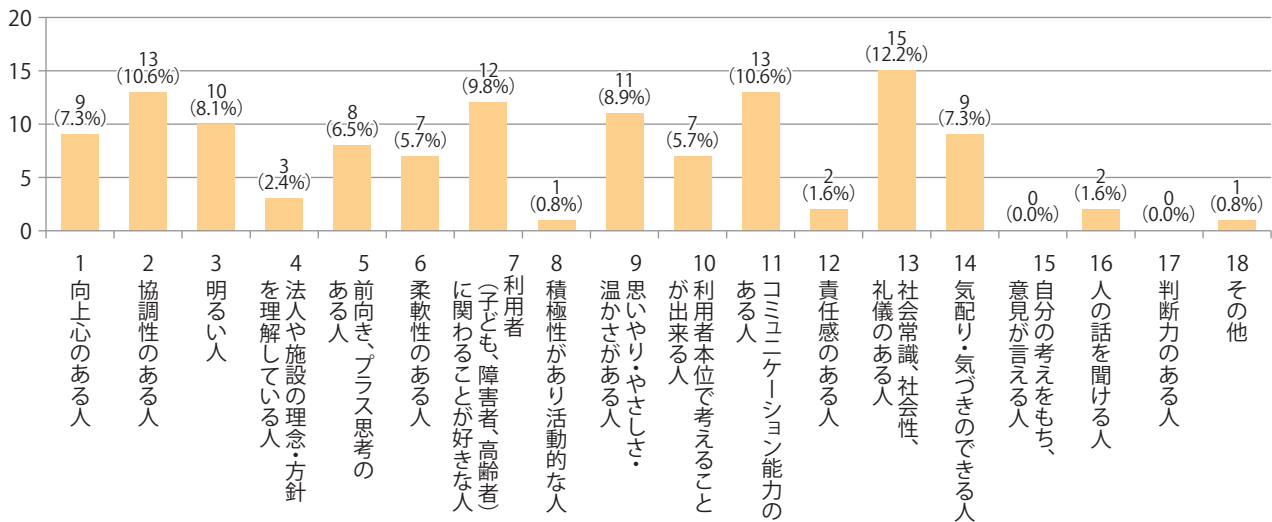


問5 採用する職員に求める人物像をお聞かせください。 (複数回答)

「社会常識、社会性、礼儀のある人」が15事業所(12.2%)と最も多く、続いて「協調性のある人」と「コミュニケーション能力のある人」が同数の13事業所(10.6%)と続いた。

(n = 123)

1. 向上心のある人	9	7.3%	10. 利用者本位で考えることが出来る人	7	5.7%
2. 協調性のある人	13	10.6%	11. コミュニケーション能力のある人	13	10.6%
3. 明るい人	10	8.1%	12. 責任感のある人	2	1.6%
4. 法人や施設の理念・方針を理解している人	3	2.4%	13. 社会常識、社会性、礼儀のある人	15	12.2%
5. 前向き、プラス思考のある人	8	6.5%	14. 気配り・気づきのできる人	9	7.3%
6. 柔軟性のある人	7	5.7%	15. 自分の考えをもち、意見が言える人	0	0.0%
7. 利用者(子ども、障害者、高齢者)に関わることが好きな人	12	9.8%	16. 人の話を聞ける人	2	1.6%
8. 積極性があり活動的な人	1	0.8%	17. 判断力のある人	0	0.0%
9. 思いやり・やさしさ・温かさがある人	11	8.9%	18. その他	1	0.8%

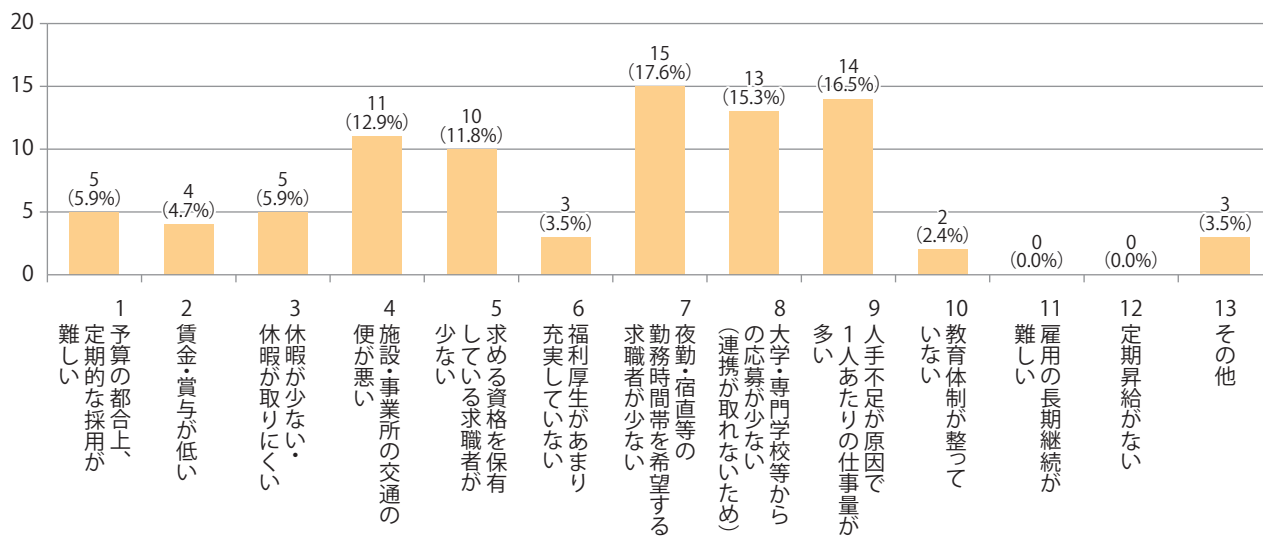


問6 職員を採用するにあたっての課題をお聞かせください。（複数回答）

「夜勤・宿直等の勤務時間帯を希望する求職者が少ない」が15事業所（17.6%）と最も多く、続いて「人手不足が原因で1人あたりの仕事量が多い」が14事業所（16.5%）、「大学・専門学校等からの応募が少ない」が13事業所（15.3%）であった。

(n=85)

1. 予算の都合上、定期的な採用が難しい	5	5.9%
2. 賃金・賞与が低い	4	4.7%
3. 休暇が少ない・休暇が取りにくい	5	5.9%
4. 施設・事業所の交通の便が悪い	11	12.9%
5. 求める資格を保有している求職者が少ない	10	11.8%
6. 福利厚生があまり充実していない	3	3.5%
7. 夜勤・宿直等の勤務時間帯を希望する求職者が少ない	15	17.6%
8. 大学・専門学校等からの応募が少ない(連携が取れないため)	13	15.3%
9. 人手不足が原因で1人あたりの仕事量が多い	14	16.5%
10. 教育体制が整っていない	2	2.4%
11. 雇用の長期継続が難しい	0	0.0%
12. 定期昇給がない	0	0.0%
13. その他	3	3.5%

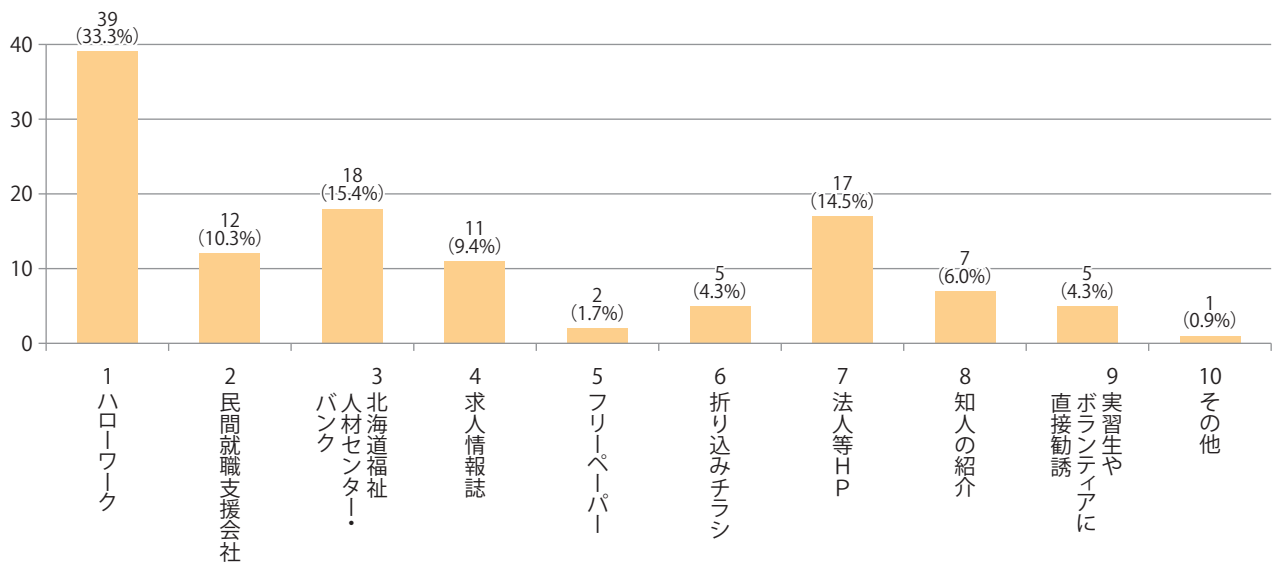


問7 職員募集の際に利用している機関等をお聞かせください。（複数回答）

「ハローワーク」が39事業所（33.3%）と最も多く、続いて「北海道福祉人材センター・バンク」が18事業所（15.4%）、「法人等HP」が17事業所（14.5%）であった。

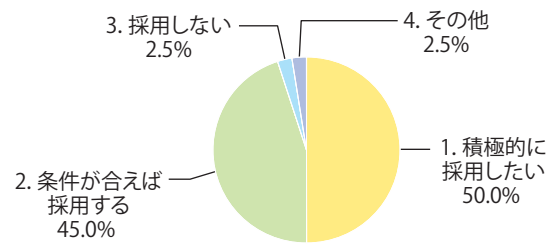
(n = 117)

1. ハローワーク	39	33.3%	6. 折り込みチラシ	5	4.3%
2. 民間就職支援会社	12	10.3%	7. 法人等HP	17	14.5%
3. 北海道福祉人材センター・バンク	18	15.4%	8. 知人の紹介	7	6.0%
4. 求人情報誌	11	9.4%	9. 実習生やボランティアに直接勧誘	5	4.3%
5. フリーペーパー	2	1.7%	10. その他	1	0.9%



問8 高卒者の採用についてお聞かせください。

「積極的に採用したい」が20事業所（50%）で半数を占めており、「条件が合えば採用する」を合わせると95%となった。

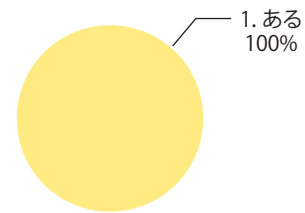


(n = 40)

回答	件数	割合
1. 積極的に採用したい	20	50.0%
2. 条件が合えば採用する	18	45.0%
3. 採用しない	1	2.5%
4. その他	1	2.5%

問9 正職員への転換の有無についてお聞かせください。

回答した全ての事業所が正職員への転換が「ある」と回答した。

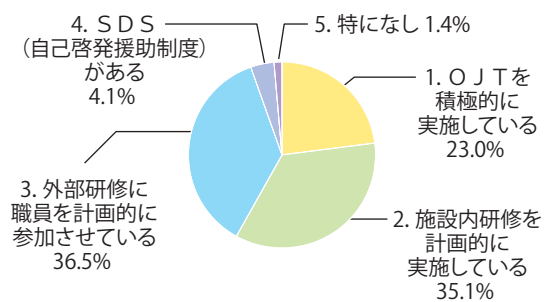


(n = 38)

回答	件数	割合
1. ある	38	100.0%
2. ない	0	0.0%

問10 施設・事業所での研修体制についてお聞かせください。

「外部研修に職員を計画的に参加させる」が27事業所（36.5%）で最も多く、続いて「施設内研修を計画的に実施している」が26事業所（35.1%）、「OJTを積極的に実施している」が17事業所（23%）であった。

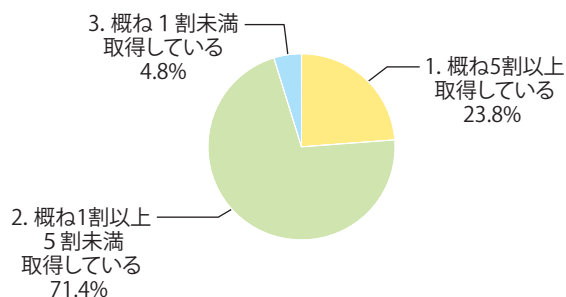


(n = 74)

回答	件数	割合
1. OJTを積極的に実施している	17	23.0%
2. 施設内研修を計画的に実施している	26	35.1%
3. 外部研修に職員を計画的に参加させている	27	36.5%
4. SDS (自己啓発援助制度) がある	3	4.1%
5. 特になし	1	1.4%

問11 職員の有給休暇についてお聞かせください。

有給休暇の取得状況は、「概ね1割以上5割未満取得している」が30事業所（71.4%）で、「概ね5割以上取得している」が10事業所（23.8%）であった。

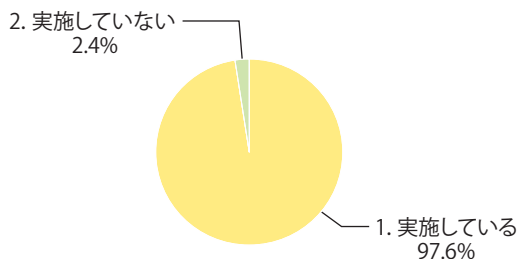


(n = 42)

1. 概ね5割以上取得している	10	23.8%
2. 概ね1割以上5割未満取得している	30	71.4%
3. 概ね1割未満取得している	2	4.8%

問12 正規職員の定期昇給の有無についてお聞かせください。

正規職員の定期昇給を「実施している」が、9割以上だった。

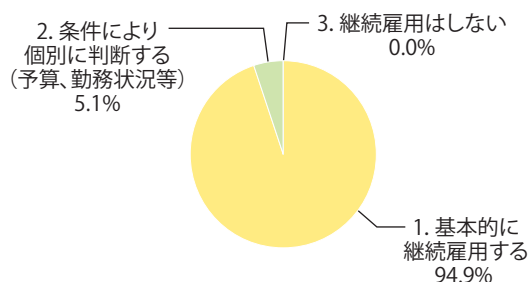


(n = 41)

1. 実施している	40	97.6%
2. 実施していない	1	2.4%

問13 非正規職員（常勤・非常勤・パート）の継続雇用についてお聞かせください。

非正規職員（常勤・非常勤・パート）の継続雇用を「基本的に継続雇用する」が、9割以上だった。



(n = 39)

1. 基本的に継続雇用する	37	94.9%
2. 条件により個別に判断する（予算、勤務状況等）	2	5.1%
3. 継続雇用はしない	0	0.0%